

再 評 価 調 査 書

I 事業概要						
事業名	砂防等事業(急傾斜地崩壊防止施設緊急改築事業)					
地区名	くぎゅうだいらくいき 九久平区域					
事業箇所	とよたし くぎゅうだいらちようちない 豊田市九久平町地内					
事業のあらまし	当該区域は、接骨院(要配慮者利用施設)、松平コミュニティセンター(指定避難所)及び人家 19 戸を有するがけ高 30m、勾配 50° の急傾斜地である。1975 年～1983 年にかけて急傾斜地崩壊防止施設の施工をしてきたが、地山の風化等の影響により施設の災害防止機能の不足がみられた。そのため、緊急的な改築を行い、災害防止機能の向上を図るものである。					
事業目標	【達成(主要)目標】 ・接骨院(要配慮者利用施設)、松平コミュニティセンター(指定避難所)及び人家 19 戸を急傾斜地の崩壊による土砂災害から保全する。 【副次目標】 ・なし。					
計画変更の推移		事前評価時 (2013 年度)	再評価時 (1回目) (2020 年度)	再評価時 (2回目) (2025 年度)	変動要因の分析	
	事業期間	2014 年度～ 2017 年度	2014 年度～ 2024 年度	2014 年度～ 2029 年度	・地元調整の難航	
	事業費(億円)	1.5	4.7	4.9		
	経費内訳	工事費	1.4	4.0	4.2	・事業費の精査による変動
		用補費	0.0	0.1	0.1	
		その他	0.1	0.6	0.6	
事業内容	法面修繕等 L=120m	法面修繕等 L=250m	法面修繕等 L=250m			
II 評価						
①事業の必要性の変化	1) 必要性の変化	【事前評価時の状況】 ・接骨院(要配慮者利用施設)、松平コミュニティセンター(指定避難所)及び人家 19 戸を保全する必要がある。 【再評価時の状況】 ・保全対象等に変化はない。 【変動要因の分析】 ・なし。				
	判定	B A : 事業着手時に比べ必要性が増大している。 B : 事業着手時に比べ必要性にほとんど変化がない。 C : 事業着手時に比べ必要性が著しく低下している。 ※事業着手時と比較することが適当ではないと判断される場合は、「事業着手時」を「前回評価時」に置き換えることができる。 【理由】 ・事業着手から必要性について変化はないため。				

②事業の進捗状況及び見込み	1) 進捗状況	<p>【事業計画及び実績】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2"></th> <th>2014 (H26)</th> <th>~</th> <th>2018 (H30)</th> <th>2019 (R1)</th> <th>2020 (R2)</th> <th>2021 (R3)</th> <th>2022 (R4)</th> <th>2023 (R5)</th> <th>2024 (R6)</th> <th>2025 (R7)</th> <th>2026 (R8)</th> <th>2027 (R9)</th> <th>2028 (R10)</th> <th>2029 (R11)</th> <th>合計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="4">工種 区分</td> <td>調査・設計</td> <td>←</td> <td></td> </tr> <tr> <td>用地補償</td> <td></td> <td>←</td> <td></td> </tr> <tr> <td>工事</td> <td></td> </tr> <tr> <td>擁壁工</td> <td></td> <td></td> <td>←</td> <td></td> <td>→</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">事業費 (億円)</td> <td>前回計画</td> <td colspan="2">2.55</td> <td colspan="5">2.15</td> <td colspan="5">0.00</td> <td>4.70</td> </tr> <tr> <td>実績</td> <td>2.55</td> <td></td> <td>0.99</td> <td colspan="4">1.01</td> <td colspan="5"></td> <td>4.55</td> </tr> <tr> <td>今回計画</td> <td>2.55</td> <td></td> <td colspan="5">2.00</td> <td colspan="5">0.35</td> <td>4.90</td> </tr> </tbody> </table> <p>【進捗率】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2"></th> <th colspan="3">これまでの計画に対する達成状況</th> <th colspan="2">全体進捗率</th> </tr> <tr> <th>計画 【①】</th> <th>実績 【②】</th> <th>達成率(%) 【②÷①】</th> <th>計画 【③】</th> <th>達成率(%) 【②÷③】</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>擁壁工(延長 km)</td> <td>0.25</td> <td>0.14</td> <td>56.0</td> <td>0.25</td> <td>56.0</td> </tr> <tr> <td>事業費(億円)</td> <td>4.70</td> <td>4.55</td> <td>96.8</td> <td>4.90</td> <td>92.9</td> </tr> <tr> <td> 工事費</td> <td>4.04</td> <td>3.89</td> <td>96.3</td> <td>4.24</td> <td>91.7</td> </tr> <tr> <td> 用補費</td> <td>0.01</td> <td>0.01</td> <td>100.0</td> <td>0.01</td> <td>100.0</td> </tr> <tr> <td> その他</td> <td>0.65</td> <td>0.65</td> <td>100.0</td> <td>0.65</td> <td>100.0</td> </tr> </tbody> </table> <p>【施工済みの内容】 ・法面修繕工等 L=140m</p>			2014 (H26)	~	2018 (H30)	2019 (R1)	2020 (R2)	2021 (R3)	2022 (R4)	2023 (R5)	2024 (R6)	2025 (R7)	2026 (R8)	2027 (R9)	2028 (R10)	2029 (R11)	合計	工種 区分	調査・設計	←															用地補償		←														工事																擁壁工			←												→	事業費 (億円)	前回計画	2.55		2.15					0.00					4.70	実績	2.55		0.99	1.01									4.55	今回計画	2.55		2.00					0.35					4.90		これまでの計画に対する達成状況			全体進捗率		計画 【①】	実績 【②】	達成率(%) 【②÷①】	計画 【③】	達成率(%) 【②÷③】	擁壁工(延長 km)	0.25	0.14	56.0	0.25	56.0	事業費(億円)	4.70	4.55	96.8	4.90	92.9	工事費	4.04	3.89	96.3	4.24	91.7	用補費	0.01	0.01	100.0	0.01	100.0	その他	0.65	0.65	100.0	0.65	100.0
			2014 (H26)	~	2018 (H30)	2019 (R1)	2020 (R2)	2021 (R3)	2022 (R4)	2023 (R5)	2024 (R6)	2025 (R7)	2026 (R8)	2027 (R9)	2028 (R10)	2029 (R11)	合計																																																																																																																																																							
	工種 区分	調査・設計	←																																																																																																																																																																					
		用地補償		←																																																																																																																																																																				
		工事																																																																																																																																																																						
		擁壁工			←												→																																																																																																																																																							
	事業費 (億円)	前回計画	2.55		2.15					0.00					4.70																																																																																																																																																									
		実績	2.55		0.99	1.01									4.55																																																																																																																																																									
		今回計画	2.55		2.00					0.35					4.90																																																																																																																																																									
		これまでの計画に対する達成状況			全体進捗率																																																																																																																																																																			
計画 【①】		実績 【②】	達成率(%) 【②÷①】	計画 【③】	達成率(%) 【②÷③】																																																																																																																																																																			
擁壁工(延長 km)	0.25	0.14	56.0	0.25	56.0																																																																																																																																																																			
事業費(億円)	4.70	4.55	96.8	4.90	92.9																																																																																																																																																																			
工事費	4.04	3.89	96.3	4.24	91.7																																																																																																																																																																			
用補費	0.01	0.01	100.0	0.01	100.0																																																																																																																																																																			
その他	0.65	0.65	100.0	0.65	100.0																																																																																																																																																																			
2) 未着手又は長期化の理由	・地元と工事の時期及び作業時間の調整が難航し、工事着手に時間を要したため。																																																																																																																																																																							
3) 今後の事業進捗の見込み	<p>【阻害要因】 ・特になし。</p> <p>【今後の見込み】 ・特に阻害要因がないため、今後は予定どおりの事業進捗が見込める。</p>																																																																																																																																																																							
判定	<p>A : これまで事業は順調であり、引き続き計画通り確実な完成が見込まれる。 B : 次のいずれか(該当する項目に「○印」を付ける) ・これまで事業は順調である。今後は多少の阻害要因が見込まれるものの、一定の期間等を要すれば、解決できる見通しがあり、ほぼ計画通りの完成が見込まれる。 ○ B ・これまで事業が長期化していたが、事業期間を延長したことにより、今後は阻害要因がなく、ほぼ計画通りの完成が見込まれる。 ・これまでの事業長期化により、事業期間を延長した。今後も多少の阻害要因が見込まれるが、一定の期間等を要すれば、解決できる見通しがあり、ほぼ計画通りの完成が見込まれる。 C : 阻害要因の解決が困難で、現時点では、事業進捗の目処がたたない。</p> <p>【理由】 今後地元の意向に配慮して事業を進めることにより、計画通りの完成が見込まれるため。</p>																																																																																																																																																																							
III 対応方針																																																																																																																																																																								
継続	中止:上記①～③の評価で一つでもC判定があるもの。 継続:上記以外のもの。																																																																																																																																																																							
IV 事後評価実施の有無と主な評価内容																																																																																																																																																																								
■対象(事業完了後 5年目) □対象外																																																																																																																																																																								
【事業完了後5年を越えて実施する理由・対象外の理由】 —																																																																																																																																																																								
【主な評価内容】 ・急傾斜地崩壊防止施設と保全対象の状況から、事業効果を確認する。																																																																																																																																																																								